

# ふらっと通信



第34号

発行:南房総市 富山地域づくり協議会「ふらっと」 (TEL 0470-57-3000)  
 企画編集:地域づくり支援員(三橋・原) (FAX 0470-57-3002)  
 〒299-2292 南房総市久枝327番地(南房総市富山地域センター内)  
 メールアドレス:tomy\_furatt@yahoo.co.jp

総会の冒頭、来賓の石井市長・鈴木市議会議員から挨拶をいただき議題に入りました。その後、議長には沼田明彦さんを選出し、平成24年度活動報告及び収支決算報告、規約の改正、平成25年度活動



(役員改選で選出された新役員メンバー)

富山地域づくり協議会「ふらっと」の平成25年度総会を、4月20日富山公民館で行いました。当日は、来賓に石井市長をはじめ地元市議会議員、平成24年度富山地区区長会長・同副会長、25年度選出されました各区長も大勢出席していただき、予定していた4議案が賛成多数で承認されました。

## 佐野会長を再任

「ふらっと」の新年度がスタート

計画及び収支予算、役員改選の4議案が審議され、賛成多数で承認されました。

- 平成25年度の活動計画
- ・テーマ1 交流のまちづくり
  - ・テーマ2 安心して暮らせるまちづくり
  - ・テーマ3 連携によるまちづくり
  - ・テーマ4 先進地視察
- など4つのテーマに基づいた活動を行うことになりました。(詳しくは、3ページをご覧ください。)



(挨拶する石井市長)

地域の課題を自ら見つけ、解決して行くと言うことでスタートした協議会です。皆さんが力を合わせて苦勞を乗り越えて、充実した活動を行っていただきたいと思います。

- 新役員は次のとおりです。(敬称略)
- ▽会長 佐野左内 (高崎・再任)
  - ▽副会長 戸倉勝美 (山田・再任)・前田慶子 (平久里下・新任)
  - ▽会計庶務 川名修 (市部・新任)・笹生進 (二部・新任)
  - ▽監事 山田和矩 (市部・新任)・田村靖夫 (久枝・新任)

## 市内小中学校での富山地区の児童・生徒数の数は

今年の春、富山小学校に入学した児童数は41人で、市内12校ある小学校の中で一番多く、真新しい洋服を着た新1年生が初々しい姿で、入学式を迎えました。また、富山小の全児童数は223人で富浦小に次いで2番目に多く、これから予定されている運動会が楽しみです。一方、中学生の生徒数は107人で、市内7校中5番目です。児童・生徒数が減っています。昔のように、子どもが増え、地域が賑やかになってくれればいいですね。

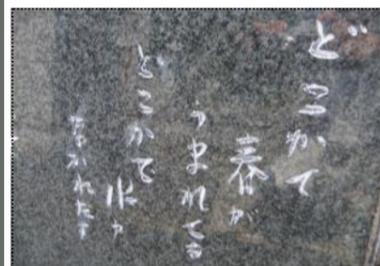
※各区・各団体からの行事予定「富山のことをもっとよく知ろう」は、今号はお休みします。

設置した標識は、丸木で長さ100センチ。文字の彫刻は、ふらっとの協力会員で市部にお住いの川田正孝さんをお願いしました。 ※合目標識は山岳信仰に基づいたもので、特に「距離や高度を表す単位」ではないと考えます。

## わがふるさと富山⑤

今年、3月に暖かい日が続く、桜の花も例年より一週間以上早く満開になり、例年の時期に花見を予定していた方は、当てが外れたことと思います。 さて富山の桜の名所に、寿薬寺の枝垂れ桜があり、す。それと寿薬寺で忘れていけない一つが、児童文学者で抒情歌「どこかで春が」を作詞した百田宗治の墓所ということです。百田宗治は疎開先の北海道札幌から昭和23年に久枝の「中島別荘」に移り住みま

した。当時の岩井町の百田宗治の生活は、従来通り児童読物や児童文化運動に関する論文を整理し東京で出版されたり、綴方教育の指導、講演旅行、教科書の編集などに力をそそぐ日々で集まった。また、「安房の子供」という児童作品を載せた「こども新聞」を房州日日新聞から発行しました。昭和29年に久枝から高崎に家を求めて移り住みましたが、不幸にも病に侵され同年12月12日に逝去、数え年63歳でした。



(お孫さんの百田仁氏が建立した「どこかで春が」の詩碑)

遺言により「海と富士山の見える美しい丘(寿薬寺)に眠っています。お墓の角にはお孫さんの百田仁氏によって「どこかで春が」の詩碑が建立されています。

## 富山登山道に合目標識を設置

「ふらっと」では、4月12日、合戸の福満寺から登る富山登山道に、四・六・八・九合目標識(※)を設置しました。これは、多くの方に富山登山を楽しんでもらおうと、昨年から調査を行い設置したものです。 標識は、登山道に約40年前に設置されたものと聞きます。本来は合目標識まで全てあるのですが、今回、設置されていない標識4基を、2手に分かれて運び設置しました。



(楽しく登山される方 pensando 標識を設置する會員)

## 市役所新規職員も参加し 岩井駅構内と駅前公園の草取りをする

「ふらっと」が、定期的に「いわい案内人の会」と一緒に行っている岩井駅構内の整備作業は、4月18日、駅前公園内と構内花壇の草取りを行いました。今回は、市役所新規職員5名が研修として参加し、慣れない手つきで鎌を持ち、2時間ほどの草刈作業に汗を流しました。

「里見の剣」と「枇杷の里」ほかを熱唱 (百浜の里見香華の舞踊が歌に花を添え、里見の剣を熱唱) 岩井河川エコ会(能重初雄 会長)主催の平群ミニコンサートが、4月23日、旧平群小学校体育館で行われました。このコンサートは都市部と農村部の交流事業の一つとして行われたもので、当日はフリーアーティストとして歌手・女優として活躍中の葵夏海さんが、「里見の剣」と「枇杷の里」を熱唱。約100名の参加者から大きな拍手が贈られていました。



(百浜の里見香華の舞踊が歌に花を添え、里見の剣を熱唱)

## ◆伏姫と八房のたわ言◆

NHKの朝ドラ「あまちゃん」は大変な人気があるそうで、私も毎朝観るようになって見ないと気がすまなくなってきました。特に方言が面白く、驚いた時に発する「じえ、じえ」は今では子どもも真似をするほどです。ちなみに富山では驚いた時に「あわくう」と言いました。 また、ほかの地方でも、驚いた時に思わず出てしまう変わった方言があります。富津市の旧富津では、驚いた時に「ちいーせやー」と今でも言います。これは小さい意味ではなく、「すごいとかびっくりした」という意味です。

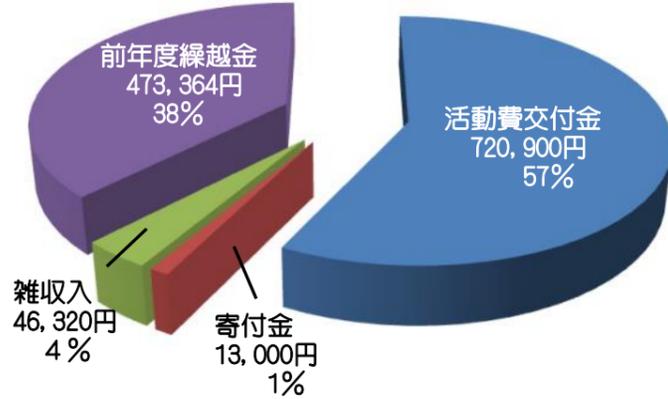
地域づくり支援員

# 「ふらっと」の平成24年度決算を報告します

歳入総額 1,253,584円  
 歳出総額 804,021円  
 収支残額 449,563円

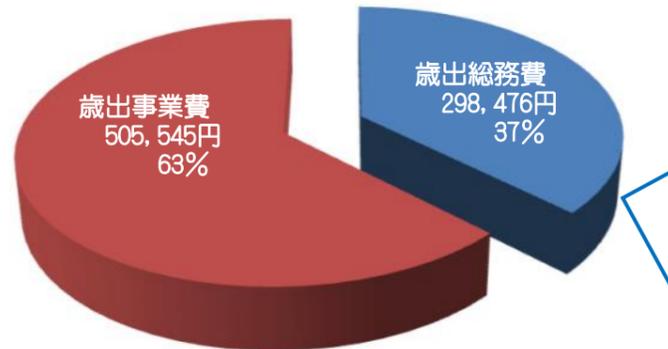
平成24年度の歳入は、主なものは下の表のように市からの活動交付金と前年度繰越金です。歳出では、総務費でふらっと通信紙代などの事務費が、事業費では彼岸花植栽、防災講座などに係る消耗品費が主なものです。またふらっとフェスタは、協賛金をいただき開催しました。

## 歳入決算額



○活動費交付金は活動そのものにかかわる市からの交付金です。  
 ○寄付金は富山小学校開校記念イベント寄付金です。

## 歳出決算額



○歳出総務費は、「ふらっと通信」用紙代等事務費の購入や視察研修会経費が主なものです。  
 ○歳出事業費は活動に係る経費で、主な活動は、次のとおりです。  
 ・ひまわり花いっぱい運動（5月）  
 ・富山国保病院の草取り作業（6/19）  
 ・彼岸花植栽イベント（7/14）  
 ・富山小開校記念イベント（8/25）  
 ・ふらっと防災講座（10/21）  
 ・先進地視察研修（11/30）  
 ・つうしん30号記念号発行（1月）  
 ・駅構内花の植栽（5月～3月）  
 ・富山合目標識設置（3月）  
 などです。

# 「住んでよかった 住み続けたい富山」を目指して、地域で支えあう仕組みづくりを進める ～「ふらっと」平成25年度の活動が決まる～

富山地域づくり協議会「ふらっと」は「住んでよかった 住み続けたい富山」を目指して、平成23年4月に発足し、3年目がスタートしました。これまで、環境美化、親子・地域交流、防災と幅広い活動してきました。

平成25年度の活動は、「交流のまちづくり」のほか3つのテーマに基づき活動を予定しています。「交流のまちづくり」では、「ふらっとフェスタ」のほか、「安心して暮らせるまちづくり」では、「防災講座の開催」では、「連携によるまちづくり」では、各行政区と連携した活動など、引き続き「地域で支えあう仕組みづくり」を推し進めていきます。

そしてこれからも、地域づくりを担っているさまざまなたらではの地域づくりを進めていきます。



## 4つのテーマに基づいた活動を予定しています

テーマ	具体的な内容 (太字は新規活動)
<b>交流のまちづくり</b> 人と人のつながりや地域ににぎわいを創出できるよう、地域住民が多数集まれるイベントを開催します。 富山のよいところを学びつつ、自然・歴史を活かしたまちづくりを進めます。またハイキングコースの案内看板等の整備を行います。	・ふらっとフェスタ ・遊歩道案内板の作成 ・富山学講座の開催 ・浜芝保護による岩井海岸保全  (地域の交流深めたフェスタ 昨年8月)
<b>安心して暮らせるまちづくり</b> 花の植栽や公共施設等の清掃を行い、地域住民に景観形成に対する意識の高揚を図るとともに、快適に暮らせる生活空間の形成をめざします。 少子高齢化などの地域の実情を踏まえ、地域とともに助け合い、地域で支えあう仕組みづくりを、地域住民、既存団体などと連携し進めます。	・市部バイパス彼岸花の植栽 ・花いっぱい運動 ・公共施設等の清掃作業 ・高齢者料理教室 ・高齢者を対象とした便利屋の検討 ・防災講座の開催  (白鳩保育園児と市部バイパスに彼岸花を植栽。昨年7月)
<b>連携によるまちづくり</b> 行政区など地域の声に耳を傾け、地域のニーズの把握をし、今後の活動の参考とします。	・各行政区と連携した活動  (富山小学校開校記念イベント 昨年8月)
<b>先進地視察</b>	・先進的な事例を学び、これからの活動をよりよいものにします。

よる思 い一事ア く強が組一し駐 だいなと言T過のらし いのがか橋  
 る駐いこと丸故ドそりい、み番て在私 さて電で葉M払職れ、先努一、ら宏3  
 し生まれ思とにバので地犯たに、所が。対話す巧コい員て2月力員皆ず之月  
 く所すかいなつイたす。域罪い取ま員高 応が。み1金をし名、しと様パとの  
 お員がらます。つイすめ。域罪い取ま員高 しか。にナが名まの館てしにト申人事  
 願を、す。たてや皆 づにのりずと崎、か還お1あ乗い方山が市内  
 目皆長 犯お管様 すす付金にるりまが市内 ぐて金を誘。電し多内  
 指様いお 罪話内の 策て発宅をい生に 警たあり出どを。の還。だてて  
 お願いしに信付きの合でいて、い  
 どたなうだるぞけと



高崎駐在所 高橋宏之さん

犯罪に強くなる地域NVSQJ 取組のあかし